



中野工業株式会社 SDGs宣言

当社は、「安全第一かつ品質向上」という経営理念のもと、
事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月28日

中野工業株式会社
代表取締役 中野 富夫



重点項目(ターゲット2030)

造船事業の発展への貢献

「船殻の建造・溶接」を通じて、船舶建造工程の一端を担い、安全第一かつ品質向上に努めます。様々なステークホルダーの皆さまと連携し、造船事業の持続的な発展に貢献します。

【主な取り組み】

- ・高品質加工製品の供給
- ・サプライチェーン維持による社会インフラへの貢献
- ・造船所との協業による技術力の向上



環境に配慮した取り組み

カーボンニュートラルの実現に向けて、造船所との協力体制により環境に配慮した取り組みを実施します。また、クリーンエネルギーの活用を通じて、GHGの削減に努めていきます。

【主な取り組み】

- ・太陽光発電による再生可能エネルギーの利用
- ・全社LED照明への切替による省エネルギー化



働きやすい職場環境の形成

従業員一人ひとりの個性を認め合い、共に働き助け合える仲間を大切に、活気ある働きやすい職場環境の形成に努めます。また、会社の強みであるベテランスタッフの技術・技能の継承にも取り組みます。

【主な取り組み】

- ・外国人労働者の雇用 ・極め細やかなフォローの実施
- ・技術・技能の継承 ・OJTや座学研修の実施
- ・従業員の安全確保と健康維持



健全経営の実践

将来、想定される災害発生や事故への対策について日頃から意識して備えることでリスクマネジメントの強化に努めます。また、公正・公平な取引やコンプライアンスを徹底し、健全な経営に取り組みます。

【主な取り組み】

- ・経営理念の明文化と社員への周知
- ・コンプライアンスの徹底 ・公正な取引の遵守
- ・ステークホルダーとの対話・連携



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。